



総会開催についての思い

副会長 阿部 英悦 (高校七期)

コロナ禍、皆様、大変な思いをされているのではないかと推察致します。

暑いさなかのマスク着用、手洗い・手指消毒や検温の励行、密集・密接・密閉という三密の回避、外出や旅行の制約、入院したり介護施設に入っている身内には会えない、テレワーク(在宅勤務)やオンライン会議の推奨といった勤務形態の制約等々。自粛生活疲れもピークに達しているのではないのでしょうか。

しかし、リバウンドやデルタ株流行や第五波に恐れながらも、感染に十分に気をつけつつ日常を取り戻そうという動きも見えます。相撲もプロ野球もサッカーも有観客で行なわれるようになりましたし、オリンピック・パラリンピックも開催へ向かって準備が行なわれています。ワクチン接種も医療従事者、高齢者、六十四歳以下、職場接種へと進んできました。

令和三年度松江いなさ会総会は、十月三十日(土曜日)開催予定で準備中です。その頃には、コロナ感染状況も小康状態になり、収束の光が少しは見えるのではないのでしょうか。開催にあたっては、コロナウイルス感染拡大防止のために適切な室内環境を維持し、感染リスクが高まらないように万全の注意を払って行なうことは勿論のことです。いかなる形での開催であれ、親睦と交流のために、マスク越しにでも、今年には会員各位にお会いし、未曾有の体験を話し合う機会を是非作りたいなと強く思っている今日この頃です。

会員各位のご健勝を祈り上げます。(令和三年七月一日 記)

松江で活躍する

大杜高校OB訪問記

はた

まさき

秦 正樹さん（サンテクノス社長）

を訪ねて



今回は松江を本社として関東、関西、広島などに拠点を展開して成長する企業、株式会社サンテクノス（松江市西嫁島1の2の9）の代表取締役である秦正樹社長（高校二十期）を訪問してきました。

サンテクノス社は非破壊検査の分野で高い技術力を誇る地元企業。

「かつてはメイド・イン・ジャパンと言えばその高い技術と信頼性で、世界中に進出して来たのだけど、それを支える鉄やアルミなどの鋼材溶接の技術者がいま少なくなってきたのです。」

日本は戦後長い間、誠実で確実な品質、製品の信頼性において誇りを持っていたはずです。もし今、乗車している新幹線や自動車の安全性が信頼できないとしたら、おちおち助手席で居眠りも出来ません。

「だからこそ、品質検査をする第三者機関としての我々のような企業が必要になります。しかもそれは塗装され製品化された後から行う非破壊試験であり、高い技術力と経験が必要になります。」

非破壊検査とは、機械部品や構造物の有害な「きず」を、対象を破壊することなく検出する技術だそうです。なるほど、列車の車輪をトンカチでコンコンと叩きながらその音を聞き分けて故障がないかどうかを確かめたりするあれのようなものでしょうかねえ。

今は対象内へ放射線や超音波などを入射して、「内部きず」を検出したり、表面近くへ電流や磁束を流して「表面きず」を検出する方法などがあってその技術も年々進歩しているようです。そして高い技術力を持つ社員を教育していくことが大切だとのことでした。ああ、これ以上は説明しきれないのでサンテクノスさんのホームページを見ました。サンテクノス社のホームページには次のように書いてありました。

「素材、構造物、機械などの製造時や供用期間中に、対象物を壊すことなく欠陥や損傷の有無、あるいは対象物の性質、状態等を調査することを非破壊検査といいます。」

非破壊検査では、色彩、音、放射線、電磁気、きず、欠陥及び物性等によって変化する物理現象を用いて対象物の内部や表面を検査します。」

不備があった場合、大きなプラントや公共工

事であればあるほど簡単な手直しで片付けることなど出来ず、全て取り替え工事などに発展する場合もあるので大変な損害になります。秦社長自ら大手の取引先にその大切さを訴えておられます。そして今もまだ現役として業界の最先端に立って企業を指揮しておられる姿には、定年を迎えてのんびりと孫と遊んでたりしている自分の尻を叩かれているような感じを受けて取材を終えました。

文責 今岡克己（高校二十四期）



七百坪のコミュニティ

桑本^{くわもと} 毅^{つよし}さんの取り組み

私達が生まれ育った出雲市大社町では町内会は無くてはならないものでした。冠婚葬祭はもとより、正月の吉兆さん行事など隣近所みなそろって練習に取り組んだものです。しかし近年ではそういった町内会活動を煩わしく感じる風潮となり、町内会に参加する人たちが年々減少しています。

そんな中、松江いなさ会の監事をなさっている高校十三期の桑本毅さんからこんな良いお話を伺ってきましたので紹介します。

「なーんと、造成して四十年ほど経つうちの町内は代が替わってもみんな仲が良くていまだに米や缶ビールを貸し借りするような付き合いが続いちゃいますわ。季節になると共同公園の桜の下で十四世帯が集まって一杯やつちよーますわね。」（笑）

まるで時代劇の長屋のような話ですが、伺ってお話を聞いてみると、そこには古くならない地域作りのモデルがありました。十四世帯が共同所有する七百坪、コーポラティブ「乃木の里」という住宅地は、模範的な分譲住宅建設組合事業として国からも表彰された実績があるとのこととです。

訪問したのは本年三月の末、桑本さん宅の前には桜が満開でした。小さなテーブルやベンチ

もあって周りのおうちも集いやすい公園には自転車練習する子供もいました。松江農林高校近くの閑静な住宅街にはイメージを統一するために屋根瓦と壁材だけを共通にしてそれぞれが自由設計のモダンな建物が並びます。仲良し町内会の絆は深く、代替わりをしたり転勤で引越しがあっても、すぐにその親達が紹介して若い世代が越してくるとのことでした。

「当初からこの組合長させてもらつちよー

ますけど、四十年間の管理費は積もり積もって一千万円を超えて何かあっても共同修繕への対応も万全。それになんてて子供の声が途絶えることが無いのが一番ですわねえ。」



笑顔で話される桑本さんの経歴を伺うと、あの名の通った

「住まいの縁結

び」不動産シス

テム株式会社を

立ち上げられた

社長さんだった

とのこと。なる

ほどなるほど、

さすがでした。

災害が頻発し、ますます世知辛い時代になってきている今こそこんな地域コミュニティが必要だと思うのですが、一体その成功の秘訣はどこにあったのでしょうか。

「そげだねえ、うちの住宅組合が他と違うのは、まず理念が先にあったこと。

『この組合に参加する会員は、自らの利益とともに共同の利益を守り、更により良い住環境、コミュニティの育成を図るため、相互信頼に基づいて共同することを確認する』

というこの理念に賛同する住民が住んでいるところだけねえ。」

今日も新聞にはマンションや新興住宅地の分譲の折込広告が入りますけど、そこには部屋の間取りとか居住環境だけが書かれています。ここに、もし共同の地域づくりに対する理念が添えられていたらどれほど素晴らしい松江になるのだろうと思ったりしました。



母校だより

今春の進学・就職状況については、左の表のとおりです。詳しくは、会報『いなさかい第五十一号』8ページで進路指導部長が解説していますので、ご覧ください。

今も放課後や休日等にたくさんさんの生徒が、有朋館で自学自習に励んでいます。卒業生の皆様のご尽力で建設され維持されている有朋館を、今後も有効に活用しながら生徒のために学習環境を整えていきます。

昨年度の県高校総体は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になりましたが、今年度は感染症対策を実施し、入場制限や無観客試合にしながら開催されました。

本校は、下の成績表と【写真1】のとおり、男女総合四連覇（四大会連続十回目）を達成しました。こちらも詳しくは、会報『いなさかい第五十一号』8ページで体育科長が解説していますので、ご覧ください。

1. 進学状況（合格延べ数・過年度卒業生を含む）

	30年度	元年度	2年度
大 国公立	79	63	71
学 私 立	252	243	230
短 公 立	8	9	24
大 私 立	15	19	12
高 看	36	37	23
専 門・各 種 (高看を除く)	25	31	38
合 計	415	402	398

2. 就職状況

	30年度	元年度	2年度
公 務 員	10	5	5
民 間 事 業 所	6	8	9
合 計	16	13	14

令和3年度 第59回島根県高等学校総合体育大会成績（Aグループ）

男女総合			男子総合			女子総合		
1位	大 社	195点	1位	浜 田	92点	1位	松江南	115点
2位	松江南	189点	2位	大 社	88点	2位	大 社	107点
3位	松江北	158点	3位	松江工業	82点	3位	出 雲	83点
4位	出 雲	147点	3位	出雲北陵	82点	4位	松江商業	82点
5位	浜 田	125点	5位	松江北	80点	5位	松江北	78点
6位	明 誠	116点	6位	開 星	79点	6位	明 誠	68点



【写真3】総体応援クッキー



【写真1】県総体男女総合優勝旗

空手道の女子形では、成相美来さんが優勝して全国総体出場を決めました。【写真2】が優勝した成相美来さん。【写真3】は、大社高校家庭クラブ（FHT）がつくり選手に贈った総体応援クッキーです。【写真4】ダンス部は、ダンスドリル選手権中四国大会で今年度も上位入賞して全国大会への出場を決めました。



【写真2】優勝した成相美来さん



【写真4】ダンス部のパフォーマンス

文化部では、美術部の岡本夕奈さんの油彩作品「補う」【写真5】が、「わかやま総文2021」へ出品されます。

放送部は「杜高魂」とは何かを紐解く作品が、テレビドキュメント部門で上位入賞してNHK杯全国高校放送コンテストへ出品されます。



【写真5】岡本夕奈さんの油彩作品「補う」

ESS部は、ALTのリリア先生の英語での説明や指示を聞き、メキシコ料理のタコスづくりに挑戦しました。

文芸部は、毎年、部員が文芸誌の「IDEA」と「潮騒」を作成して、生徒や教職員に配っています。

華道部は、池坊流の講師の指導を受けて、男女5名の部員が活動しています

今回紹介できなかったその他の部活動も、日々地道に努力を続けており、それぞれの大会・コンクール・活動発表等での好成績を目指しています。

昨年から続くコロナ禍で、全校が一斉に集まる行事は全て中止または制限を加えて実施しています。その代り、ZOOMなどを使用して各クラスに配信する方法をとっています。

しかし、対面でないことやはりうまく伝わらないことも多々あり、大変苦労しています。一日

でも早く新型コロナウイルス感染症が収束し、普段どおりの学校生活に戻ることを祈るばかりです。

最後に卒業生の大活躍をお知らせしましょう。

女流棋士の里見香奈さん（高校六十二期）が第三十二期女流王位戦五番勝負を三連勝で防衛して女流タイトル獲得数が歴代単独一位の通算四十四期を達成されたこと、男性棋戦での勝利数が女流棋士で単独一位となる通算三十勝を達成されたことの両方を、心よりお祝いたします。

なお、「里見香奈後援会」のホームページについては、本校のホームページ経由でも閲覧でき、後援会入会申し込みができます。

大社高校教諭 杉谷 幸夫
（高校三十二期）

島根県立大社高等学校

〒699-0722

出雲市大社町北荒木1473

クラス数

各学年 普通科五、体育科一

全校生徒数 六八三名

（令和三年五月一日現在）

部活動

運動部十四、文化部十二

写真提供 独立軒写真場・総務部

秋になったら

秋になったら夜空を見上げたい。高く澄んで、月も星もきれい。寝るのが惜しくなるような満天の夜空を見上げていたい。

「溢れこぼれるような星だ

或るところには群れて沢山

或るところにはひとつ」

千家元磨の詩「星」

大正十五年七月三十日出版

『夏草』より

千家元磨

（せんげ・もとまる。一八八八～一九四八）

千家尊福（たかとみ。出雲大社大宮司を辞し政界に転じ、貴族院議員、静岡や東京の知事、司法大臣を歴任。「一月一日」の作詞家）の次男として明治二十一年東京に生まれる。武者小路実篤らの白樺派文学運動の中にあって、肯定的な人道主義の詩風をうちたて、白樺派の代表的詩人として重きをなした。文学活動はすべて東京が拠点だったが、戦死した長男葬祭のため敗戦の年に帰郷した際、故郷を題材とした詩二編を残した。

島根県 環境生活部 文化国際課

「島根ゆかりの文学者」より。

大社に痘疹守護の神様を

祀る神社がある!!!

伊那西波岐神社（鷺森明神）

総会で記念講演をお願いしている梶谷光弘さんが最近出版された書物に「西洋医学受容から衛生思想普及までの道のり―南蛮流医学からオランダ医学、そしてドイツ医学へ―」（松江市ふるさと文庫24 松江市歴史まちづくり部史料編纂課 2020年3月発行）があります。

この本の中に『松江藩における種痘』という項目があります。種痘は痘瘡（天然痘）の予防法です。この病は痘瘡ウイルスで感染し、重篤になれば死に至る、つまりコロナと同じ感染症です。先人は疫病克服に努力を重ね、十八世紀末、イギリス人ジェンナーはついに牛痘病に罹患した牛の膿を人に移して抗体を作り病気にかからないようにする牛痘種痘法を考案しました。

長崎でそれを学んだ松江の町医錦織春象は、1853年、松江で初めて種痘を行ない、以来、痘瘡による死亡者は急減したのでした。しかし、それ以前には痘瘡は鬼神がもたらすものと恐れられ、奈良時代以降、流行するたびに御利益があると言われる神仏に祈ったり、疫病除けの神と伝えられる鍾馗の絵を飾ったりしました。

その守護の神として信仰を集めた神社が大社にあると梶谷さんは書物で紹介されています。出雲市大社町鷺浦に鎮座する

伊那西波岐神社（鷺森明神）

です。医学書の一つ『護痘錦囊』という書物には「本邦にては、痘疹守護の神は、出雲国大社の末社（撰社の誤り）に鷺森明神という（もの）あり」という記載があるそうです。江戸時代の桃園天皇（在位一七四七―六二）の時代には、痘瘡平癒のために提灯二張が寄進されたのだとか。

いやはや、大社には凄い神社があるものです。足を伸ばしてみたいと思いました。明けない夜はない、止まない雨はない、伊那西波岐神社（鷺森明神）の御利益にあやかりたいものです。



フレール・フレール・た・い・しゃー

令和三年七月いなさ会発行「いなさかい五十一号」に掲載された記事を再掲します。写真はコロナ以前の「昨年の松江いなさ会総会」のものです。アフターコロナはいつの日か。

松江いなさ会

会長 江口 博 晴（高校十期）

昨年は、総会・懇親会は六月を十月に延期し、開催出来ないかとぎりぎりまで模索しましたが、結局、参加者の安全を考慮して取止め。残念無念。コロナに振り回されました。

今年は、一応、十月三十日に「サンラポーむらくも」で開催予定です。記念講演は、コロナ禍の折、感染症も含めて松江の医学史を研究されている梶谷光弘氏（いづも財団事務局次長）をお願いしています。会報は八月下旬の発行を目指し編集中です。

取止めの苦渋の決断に追い込まれると空しさが募りますが、明けない夜はないはずと、一昨年の懇親会の写真を見ながら気持ちを鼓舞しています。

今年度から新しく五名の方が役員就任を快諾して下さいました。心強いかがり、明るい話題です。これを機に参加者が増えると幸いだと思っています。

アフターコロナには明媚な風光を持つ心やすらぐ水の都松江へ、全国の皆様、ぜひお越し下さい。

会 務 報 告

事務局長 糸賀耕一（高校十九期）

猛威をふるう新型コロナウイルス感染症に翻弄された令和二年でした。

令和二年度第三十四回総会は、サンラポーむらくもにて、六月十三日に行なうはずが叶わず、十月十八日に延期してでも開催する機会を模索しましたが、一向に終息が見えない状況に鑑み、役員会で協議の結果、甚だ残念なことでありましたが安全を第一に考慮してやむなく中止としました。

尚、総会中止のお知らせに記しましたが、総会で審議予定だった前年度の事業報告・決算報告、本年度の事業計画・予算案審議、役員改選は、役員会での承認を以て総会の承認とさせていただきます。御承知お下さい。

令和二年度の事業

▼令和二年五月二日 会計監査

▼令和二年八月二十三日 第一回役員会

前年度の事業報告・決算報告、本年度の事業計画・予算案承認。役員改選。

▼令和二年八月二十六日

総会中止のお知らせ・会費納入お願い・会報を送。

▼令和二年十二月五日 会報編集委員会

同日 開催予定だった第二回役員会は、新型コロナウイルス感染症更なる拡大のため中止。

▼令和三年三月六日 第三回役員会

会計中間報告。来年度の総会打ち合わせ。同日 会報編集委員会

令和 2 年度松江いなさ会決算書

収入総額	466,095 円
支出総額	200,683 円
差引金額	265,412 円

1. 収入の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要
会 費	240,000	166,000	▲74,000	@2,000×83 名
寄 付 金	65,000	50,000	▲15,000	いなさ会より助成金
雑 収 入	510	605	95	普通預金、 定額預金利息
繰 越 金	249,490	249,490	0	
合 計	555,000	466,095	▲88,905	

2. 支出の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘 要
会 議 費	30,000	20,248	▲9,748	役員会、役員会会場費等
事 務 費	60,000	43,254	▲16,746	通信費、事務用品、消耗品等
事 業 費	350,000	125,160	▲224,840	会報発行費、総会中止連絡・ 会費納入願い郵券等
慶 弔 費	20,000	0	▲20,000	
雑 費	30,000	12,021	▲17,979	振込手数料等
予 備 費	65,000	0	▲65,000	
合 計	555,000	200,683	▲354,317	

基金積立金現在額 200,000円

令和 3 年度松江いなさ会予算(案)

1. 収入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要
会 費	240,000	200,000	▲40,000	@2,000×100 名
寄 付 金	65,000	65,000	0	
雑 収 入	510	588	78	預金利息
繰 越 金	249,490	265,412	15,922	
合 計	555,000	531,000	▲24,000	

2. 支出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘 要
会 議 費	30,000	30,000	0	幹事会、役員会、 事務局費等
事 務 費	60,000	30,000	▲30,000	通信費、事務用品、 消耗品等
事 業 費	350,000	350,000	0	総会、会報発行費等
慶 弔 費	20,000	20,000	0	
雑 費	30,000	30,000	0	振込手数料等
予 備 費	65,000	71,000	6,000	
合 計	555,000	531,000	▲24,000	

基金積立金現在額 200,000円

今年度の総会 御案内

日時 十月三十日(土)

総会 午後四時から。

記念講演 午後五時から。

懇親会 午後六時から。

懇親会会費 五千円。

会場 サンラボーむらくも(松江市殿町)

記念講演 講師と演題

梶谷 光弘氏

(公益財団法人いづも財団事務局次長)

「華岡青洲の真実」

講師紹介

一九五二年 大社町生まれ。

一九七五年 島根大学教育学部卒業。

二〇一三年三月まで 公立小中学校、島根大学教育学部附属中学校、島根県教育庁勤務。

その間、兵庫教育大学大学院修了。

その後、島根大学特任教授を経て現職。

著書

『華岡流医術の世界』『松江藩校の変遷と役割』

『西洋医学受容から衛生思想普及までの道のり』

『漢学と医学』など多数。

講師からのコメント

「江戸時代の医者」と言えば、多くの人が「華岡青洲」の名前を挙げるでしょう。その理由は、

有吉佐和子が昭和四一(一九六六)年に発表した小説『華岡青洲の妻』の影響です。これにより、それまでは一部の研究者しか知らなかった彼は、一般の人にも知られるようになりました。同時に、そこに描かれた内容はすべて真実として受け取られました。

しかし、この小説には有吉佐和子が考えた創作(フィクション)が随所に散りばめられています。その最たるものは、彼が世界で初めて全身麻酔薬を使って乳がん腫瘍摘出手術に成功したのは文化二(一八〇五)年十月十三日ではなく、一年前の文化元年だったことです。

以下は講演でお話させていただきまします。

松江いなさ会役員名簿

(二〇二〇年総会～二〇二三年総会)

顧問	小豆沢 万里子 (高校三期)
会長	江口 博晴 (高校一〇期)
副会長	阿部 英悦 (高校七期)
	金築 孝 (高校一九期)
監事	伊藤 善章 (高校二期)
	桑本 毅 (高校三期)
	加藤 義文 (高校一〇期)
幹事	肥後 宗一 (高校一〇期)
	森脇 哲之 (高校一〇期)
	布野 正則 (高校五期)
	安達 幸子 (高校一六期) 会報委員
	奥村 俊介 (高校一八期)
	宍道 正年 (高校一八期)
	糸賀 耕一 (高校一九期) 事務局長
	長谷川 博子 (高校一九期) 会報委員
	出川 弓子 (高校二〇期) 会報委員
	引野 律子 (高校二〇期) 会計担当
	今岡 克己 (高校二四期) 会報委員

皆様へお願い

松江いなさ会は、皆様からお納めいただく会費で運営しており、御協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

結成から三十年余、松江いなさ会の絆をさらに発展させて行きたいと思っております。

つきましては、年会費は二〇〇〇円、納入期限は一応、十二月末日でございます。

会報七面に掲載しました決算書でもお分かりいただけたと思いますが、会費納入が減少の一途をたどっており、他面、諸経費の上昇もあり、会計事情は極めて厳しくなっています。事情ご賢察いただきまして、一人でも多くの方からの会費納入をお願い申し上げます。

編集後記

会報第三十二号をお届けします。編集作業の合間に、高齢者の特権で早々とワクチン接種を二回終えました。何だか気持ちがい楽になりましたよ。これで大手を振って町を歩けそうです。

今岡克己 (高校二十四期)